



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 27 号

2025 年 1 月 24 日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

SP活動だからできること

1 月、3 年生・4 年生の SP さんも多く、また、大学の春休みが始まっている SP さんもいるからか、ウィークリー SP 活動に積極的に参加している SP さんがたくさんいます。第 27 号では、SP さんの普段の活動の様子をお伝えしたいと思います。

←藤江小 徳永 SP（大学 4 年）



今年度 4 月から西部中でウィークリー SP 活動している徳永 SP。「4 月からの教員生活に向けて、小学校でも学びたいです！」と 1 月から藤江小での活動も始めました。「中学生とはぜんぜん違いますね。それを実感できたことが大きいです。大放課には、子どもたちが校内を案内してくれました！」と嬉しそうに話してくれました。残り少ない大学生活。こうした意識の高い SP さんが、現場で活躍されるのだと思います。徳永 SP のこれからにワクワクします。

石浜西小 甲斐 SP（大学 4 年）→

「先生の一員として、子どもたちに関わってもらっています。甲斐 SP が来てくれると、より少人数で子どもたちに指導ができるので助かっています。」と、現場の先生から聞きました。こう言っていただけると、嬉しいし励みになりますよね。

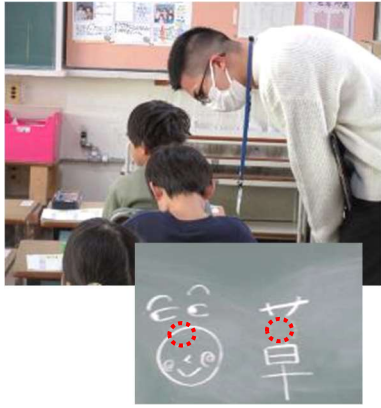
先日、名城大学で開催された授業フォーラムにも参加していた甲斐 SP。現地で会ってびっくりしました。シンポジストである現場の先生の「自由進度学習でないと学び方は学べないのか」という問いかけが印象に残ったそうです。翌日、「もっと話が聞きたい」と連絡をくれたので、すぐにシンポジストの先生に繋がりました。熱心でセンス溢れる甲斐 SP。間違いなく現場で活躍していくことでしょう。



←片葩小 酒井 SP（大学 4 年）



酒井 SP は社会科の免許を取得予定です。この時は、5 年生の社会の授業に入っていました。現場の先生の指導を見られること、子どもたちの反応を肌で感じるができること、SP 活動の一番の醍醐味です。子どもたちの姿をじっくり観察しながら、4 月からの自分をイメージしていくのも良いかもしれません。今だからできる学びです。



←片葩小 伊藤SP（大学4年）

1年生の国語の授業に入っていました。子どもへの近づき方が温かく、優しいSPさんです。左の写真は、漢字を学習している時です。子どもたちがドリルに“草”の字を書いていたら、先生が静かに黒板に左下の絵を描き始めました。これ、どういうことか分かりますか？伊藤SP、すかさず持っていたバインダーに必死にメモを取っていました。4月からは中学校で英語の先生としての生活が始まります。こうしたテクニックを現場でたくさん学んでいってください。メモを取る伊藤SPの姿も素敵でした。

片葩小 水谷SP（大学2年）→

なぜか一人で映っている水谷SP……。実は、この横に子どもがいます。教室を飛び出してきたようです。教室をエスケープしてしまう子どもも現場にはいます。そんな時、SPさんが一緒にその子について行ってくると担任の先生は助かります。水谷SPは、子どもと少し距離を取りながら、優しく話を聞いていました。SP活動でのこうした“困る場面”を経験した新任の先生は、経験したことがない先生とは子どもにかける言葉が違ってきます。とっさの対応力が違います。



←片葩小 宮崎SP（大学4年）

2年生の音楽の授業で、歌を歌っていました。その中で、ある子が椅子を前後に動かし、ガタガタ音を出していました。そんな場面に遭遇したら、皆さんはどう声をかけますか？担任としてとSPとしてではまた違った対応（指導）になるかと思いますが、大切なことは、「なぜ、その行動をしているのか？」を考えようとする事だと思います。SP活動では、その背景を知ることは難しいですから、まずは子どもに「どうしたの？」と尋ねてみるのも良いかもしれません。ここで「音を出したらダメだよ！」などとストレートに注意してしまいそうになりますが、そこはグッと我慢。まずは、“なぜ”と考える。そして、聞いてみる。子どもとの関係づくりは、こうした些細な瞬間への対応・声かけで変わってくるような気がします。

この日、片葩小の職員室には5人のSPさんの名前がありました。（池之迫SPの様子が見られず残念でした。）見ての通り、予定がみっちり。「今日は、SPさんが入ってくると助かる授業がたくさんあります。『〇〇SPさん、もう予定が入っている。どうしようかなあ。』なんて声も先生たちから聞こえてきます。本当に助かっています。」と片葩小の先生が話してくださいました。先生とSPさん、お互いに感謝の気持ちを持っていくことが、コーディネーターとして大変有難く思います。“気持ちのいい活動”ができているのは関わるみなさんのおかげです。ありがとうございます。

| | 酒井 | 伊藤航 | 池之迫 | 水谷 | 宮崎 |
|---|-----|------|------|----|-----|
| 1 | あ3 | | | あ2 | |
| 2 | 5-2 | 1-3 | あ3 | | あ2 |
| 3 | あ2 | 1年 | あ5-2 | ↓ | 2-1 |
| 4 | 3-2 | あ5-2 | 2年 | 3年 | あ3 |
| 5 | あ | あ | | | |